

○岩手南部森林管理署遠野支署の「採材現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成28年6月29日(水)から7月1日(金)にかけて、3日間で3箇所連続の採材現地検討会が開催されたため、その1日目として6月29日(水)は岩手南部森林管理署遠野支署管内の上宮守国有林で開催された採材現地検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

この週は曇りがちの天候でしたが、現地は蒸し暑さで汗ばむ中、岩手南部森林管理署管内の関係者を含め、総勢約80名の参加者により、盛大な検討会となりました。

岩手南部森林管理署遠野支署管内の特徴として、造林地はスギとカラマツが多いため、今回の検討会ではスギとカラマツの採材について検討しました。

スギとカラマツの全幹材が2本ずつ用意され、参加者全員で採材検討した後、一本一本採材の考え方等について意見交換を行いました。

青森事務所からは最近の情勢を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に労働災害対策を含めた講評を話させていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

